

第4節



美しい風景を後代に伝える

「環境づくり」

- 自然環境
- 循環型社会
- 生活基盤
- 景観形成



1 取組の背景

- 本市は、中国地方の中央に位置し、豊富な森林、河川や里山*など美しい自然環境を有しており、これまでも自然環境を守り活かしながら、自然と調和するまちづくりを進めてきました。
- 環境問題に対応するため、ゴミ分別の啓発活動やレジ袋有料化など、ゴミの減量とリサイクル*を推進し、資源循環に対する市民の意識は徐々に向上していますが、地球規模の環境問題に対応しつつ、持続可能な社会を構築するには、さらなる取組が必要です。
- 本市の地理的優位性を活かし、広域圏における拠点性を維持・向上させるために、広域道路網、情報通信基盤や市街地の整備などを進めてきました。
- 中心市街地を除く地域では、人口減少・少子高齢化の進行が顕著であり、一部の地区においては、農地の維持管理や日々の交流など、集落の生活機能を維持することが困難な状況も生まれつつあります。
- 厳しい財政状況下で、道路、橋梁、上下水道などの社会資本ストック*を良質な状態で次世代へ継承していくには、これらの長寿命化を図るなど、計画的かつ戦略的な維持管理・更新が必要です。
- 三川合流部*を中心とした河川環境の保全や景観条例による良好な景観形成、住民自治組織を中心としたそれぞれの地域における歴史・伝統・文化などの様々な資源を活かしたまちづくり、豊かな自然と調和した景観づくりなど、まちの魅力を高める取組が着実に行われています。

2 取組の方向性

- 市民と地域を育んできたかけがえのない資産である自然環境を後代に引き継ぐため、市民や企業、市が一体となった自然と調和するまちづくりの取組を、より一層強化します。
- 地球温暖化対策や循環型社会の形成に向けて、まちづくりに係るあらゆる分野で環境に配慮した取組を進め、市民、事業者が行動しやすい環境を整えます。
- 活力ある都市づくりを進めるために、広域交通の充実、安全で快適な道路環境や生活環境の整備、都市の中枢性・拠点性の強化などに取り組みます。
- 住み慣れた地域に暮らし続けることができるよう、必要な生活サービスの提供機能や地域の活動の維持に取り組みます。
- 誰もが簡単に情報を入手でき、情報化の恩恵を受けられるよう、情報通信基盤・ICT*の利活用を進めます。
- 計画的なストックマネジメント*と適切な支出・負担により、市民の生活や産業を支える社会資本を適切に保全するとともに、持続的に活用します。
- 田園風景・桜並木などの美しい景観を大切な資産として、守り、育てます。

【施策の成果をはかるのに参考となる指標】

指標	現 状	平成35年度
生物化学的酸素要求量（BOD）の環境基準達成状況（三国橋付近）	1. 1mg/ℓ	0. 5mg/ℓ
市民一人あたりのゴミ排出量	155Kg	141Kg
温室効果ガス排出量	(H22) 93万t-CO ₂	76万t-CO ₂
各支所から市役所までの移動時間（自動車）	30分以上	30分以内
汚水処理人口普及率	71. 2%	84. 0%



3 具体的な取組

(1) 自然環境 ～豊かな自然を活かし、環境保護に取り組むまち～

ア 自然とともに生きるまちづくり

- 自然環境，生物多様性の保全
- ブッポウソウ，ダルマガエル，メダカやゴギなどの希少生物の保護
- 市民一人ひとりの環境意識の高揚と行動の推進
- 地域環境リーダー*の育成
- 自然体験が行いやすい環境づくりの推進
- 里山の再生整備に対する支援

市民一人ひとりの「参加」と「行動」（例示）

- 自然体験の場を増やし，環境教育を推進する
- 広葉樹林の育成や除間伐など，適切な森林管理を行う など

(2) 循環型社会 ～地球にやさしいエコなまち～

ア 資源循環の推進

- 廃棄物のリサイクル活動の推進
- 廃棄物の付加価値化
- 粗大ゴミなどの処理の有料化

イ 温室効果ガスの排出抑制と低炭素社会実現に向けた取組

- カーボン・オフセット*の導入
- 自転車や公共交通機関の利用，エコドライブ*などの取組の推進

ウ 再生可能（自然）エネルギーの活用と省エネルギー化の推進

- 遊休地などを活用した再生可能エネルギー設備の導入
- 地域・家庭への再生可能エネルギーの普及促進
- クールシェア・ウォームシェア*の実施
- 木材を中心とした地域資源の活用（木質バイオマス発電*の調査・研究など）

市民一人ひとりの「参加」と「行動」（例示）

- 間伐材を積極的に使用する
- 生ごみの堆肥化を行う など

(3) 生活基盤 ～地域の温かみと安心感のあるまち～

ア 安全で快適に暮らせる生活環境づくり

- 市民と築く安全で快適な道路環境づくりの推進
- 歩きやすい道づくりの推進
- 安全で安心な水道水の安定供給
- 公共用水域の水質浄化の推進
- 施設の統合等，健全な公営企業経営の推進
- バリアフリー化の推進
- 予防保全を基軸とする社会資本の戦略的な維持管理・更新

イ 都市の中核・拠点性の強化

- 効率的で計画的な土地利用の推進
- 都市のにぎわい・魅力づくりの推進
- まちのエントランス[※]機能，情報発信機能の強化
- 回遊性の向上と空き家・空き店舗などの有効活用
- 歴史・伝統・文化，景観など，三次らしさを活かしたイベントの開催
- 高速道路を活用した地域活性化
- 市民が川と親しめる環境づくりの推進



中国横断自動車道尾道松江線三次東JCT

ウ 地域生活拠点の機能確保

- 特性・個性を活かした地域づくりの推進
- 住み慣れた地域で暮らし続けるための協働による支援の推進
- 地域や事業所などとの連携による生活に欠かせないサービスを地域に届けるしくみづくりの推進
- 生活に必要な機能の維持による暮らしやすさの確保

エ 広域交通体系の確立

- 広島空港へのアクセス向上
- 高速バス路線の充実
- 交通結節機能の強化

オ ICTの積極的な利活用

- 情報ネットワークの民間活用を含めた安定稼働と利用促進
- ICTを活用した市内外との人的ネットワークづくり
- 地域や学校でのICT活用に関する学習機会の充実
- 携帯電話不感地域の解消

市民一人ひとりの「参加」と「行動」(例示)

- 地域の課題を解決するための活動に参加する
- イベントに積極的に参加する
- インターネットで情報を発信する など

(4) 景観形成 ～一人ひとりが四季折々の三次を盛り上げるまち～

ア 美しい景観づくり

- 「花の里づくり」(桜など)による美しいまちづくりの推進
- 景観条例による良好な景観形成の促進
- 鮎やホテルが棲み続けられる川づくりの推進
- 美しい里山づくりの推進
- 景観づくりに取り組む市民団体等のネットワークづくりの推進
- 公園・緑地の快適性の向上

市民一人ひとりの「参加」と「行動」(例示)

- みんなで花を植える など

